

鯨類の持続的な利用の確保の在り方に関する検討会（第5回）

議事要旨

1. 日 時：令和6年2月15日（木）14:00～15:00
2. 場 所：水産庁中央会議室
3. 出席者
 - （1）委 員：内野美恵委員（座長）、佐藤卓委員（副座長）、樋口信高委員、山村和夫委員
 - （2）水産庁：藤田次長、松尾国際課長、坂本捕鯨室長ほか
4. 議 題：
 - （1）鯨類の持続的な利用の確保の在り方に関する検討会取りまとめ（案）について
 - （2）その他について
5. 概 要：
 - （1）取りまとめ案について
事務局から取りまとめ案について説明し、委員から主に以下のとおり発言があった。
 - ・ 共同船舶㈱が実施している無人店舗販売（くじらストア）の無人店舗のことを知らない方々が一定数いると思われるため、そのような方々に対してどうやってPRしていくのかは課題だろう。
 - ・ 基地式捕鯨業が沿岸での操業に苦戦している現状は、大きな問題であると認識。せっかく商業捕鯨が再開されたのに、採算が合わず商業的に成り立たないのでは、基地式捕鯨業者の方々は辛い思いをしているはず。例えば、少しでも捕獲できる鯨の種類や頭数を増やすなど、採算の取れる状態を整える必要があるのでは。商業として成り立つ収支構造モデルを示して商業捕鯨として目指す方向を見出していないと、収益は増えなかったという結果だけが残ってしまう。
 - ・ 在庫や新母船建造による諸経費増大等の問題がある中で、実際にどのような販売戦略をもって鯨肉を販売していくのが、大きな課題であろう。
 - ・ これからは、いかに在庫となっている鯨肉を現金化していくのか等、収益を上げていくモデルづくりをする必要があるだろう。
 - ・ 特定部位の在庫が積み上がっている現状があると認識。赤肉と白手物は売り方が違うので、在庫過多になっている部位の販売戦略を掘り下げて考えていかないと、先々厳しい状況になってしまうのではないかと危機感を持っている。
 - ・ 大手量販店等に鯨肉が売れない現状を是正できなければ、在庫の行く末が心配。大手量販店等の販売力はとても強く、特に回転寿司店は短期間で大量に売れるので、こういった売り場を活用しない手はない。具体的にどのように大手量販店等が鯨肉を安心して取り扱っていただける環境を整えていくかは課題だが、バイヤー自身にもご理解いただいた上で進めていかないと難しい。民間の鯨肉取扱い業者からバイヤーに説明しても、結局は鯨肉を取り扱うことのリスクが勝ってしまい、鯨肉を販売してくれない。
 - ・ 今年は関鯨丸が竣工される年であるとともに、新鯨種のTAC化も検討されていると伺っており、捕鯨業の状況変化が無人店舗販売などの取組に対して好影響を及ぼす

ことを期待している。

- ・大手量販店が鯨肉の取扱いを躊躇していることについては、風評被害そのものではないかを感じる。時間はかかるかもしれないが、少しずつ鯨食に係る消費者教育を進めて、吉報が来ることを期待したい。
- ・日本が捕鯨問題に対して真摯に対応してきた歴史など、消費者に対して届いていない情報があると改めて認識。もっと広く消費者に対して認知させるべきではないか。消費者の理解に繋がれば、クジラを食べてみよう、食べ続けてみようという意識に繋がるもの考える。
- ・鯨肉をどう流通に乗せるのか、どう食べ方を認知させていくのかといった具体的な施策について、どこかで第一歩をきらなければいけないのではないか。
- ・これまでの鯨食普及の取組はこれまで真面目に取り組み過ぎて消費者が離れてしまった面もあるのではないかと考えており、鯨食文化を楽しく伝えていく方策を模索してみてもどうか。
- ・大学などの食堂と近所の商店街とで鯨食普及についてタイアップする等してはどうか。いきなり大手量販店等に対して売り込むよりも、地元の商店街のようなところから、1つ1つ販売実績を積み上げていくのが現実的ではないか。
- ・商業捕鯨が再開されるまでの約30年間は、疑似商業捕鯨だと後ろ指を指されるのを避けるため、捕鯨業者だけでなく、鯨肉の加工業者や卸売業者が販売促進活動のような宣伝行為は控えていた。新しく鯨肉を取り扱い始めた者は、色んな工夫をして販売に取り組んでいるようだ。
- ・九州から中国四国といった昔から鯨肉販売に係る地盤があるような地域の業者が、最近では販売に苦しんでおり、元気がなくなってきているのではと憂いている。
- ・捕鯨問題の背景や経緯を知らない若い世代も増えてきており、食はパッケージのデザインや思想やファッションの観点から流行することもあるので、食の多様性など切り口を変えてクジラを売って行くことも1つの戦略だと考える。

(2) 今後について

本日の意見等を踏まえつつ、本検討会の取りまとめ資料を作成し公表することとなった。

以上